

令和8年6月

伊東市議会 6月定例会

一般質問要旨

伊東市議会

一 般 質 問 順 序

- 1 大 竹 圭 君
(6月16日(火) 10時～10時50分)
- 2 鈴 木 絢 子 君
(6月16日(火) 11時～11時50分)
- 3 四 宮 和 彦 君
(6月16日(火) 13時～13時50分)
- 4 河 島 紀 美 恵 君
(6月16日(火) 14時～14時50分)
- 5 虫 明 弘 雄 君
(6月16日(火) 15時～15時50分)
- 6 村 上 祥 平 君
(6月17日(水) 10時～10時50分)
- 7 竹 本 力 哉 君
(6月17日(水) 11時～11時50分)
- 8 杉 本 一 彦 君
(6月17日(水) 13時～13時50分)
- 9 犬 飼 こ の り 君
(6月17日(水) 14時～14時50分)
- 10 大 川 勝 弘 君
(6月17日(水) 15時～15時50分)

- 11 井 戸 清 司 君
(6月18日(木) 10時～10時50分)
- 12 篠 原 峰 子 君
(6月18日(木) 11時～11時50分)
- 13 長 沢 正 君
(6月18日(木) 13時～13時50分)
- 14 重 岡 秀 子 君
(6月18日(木) 14時～14時50分)
- 15 片 桐 基 至 君
(6月18日(木) 15時～15時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 大 竹 圭

1 宇佐美保育園を視察した際に調理場と遊戯室に雨漏りを確認したが、移転までの約2年間、市は児童福祉法に基づいた保育環境の確保に対する責任があると考え、以下3点伺う。

(1) 雨漏りが園児の食の安全や活動環境に与える影響について、どのように認識しているか伺う。

(2) 雨漏りの原因特定や必要な対応について、専門業者による調査を含め、どのように進める考えか伺う。

(3) 移転までの間における、安全衛生管理の方針を伺う。

2 保育士の確保は、保育の質や子供の安全に直結する重要な課題であると考え、以下3点伺う。

(1) 保育士の確保について、応募者数、採用者数、退職者数、正規職員と会計年度任用職員の配置状況などを踏まえ、定着に向けた課題をどのように認識しているか伺う。

(2) 近年の保育現場における業務負担の増加を踏まえ、保育士の職務の特性を給与制度上どのように評価しているか伺う。また、給料の調整額を含めた評価の在り方を研究すべきと考えるが、見解を伺う。

(3) 保育士の定着を図る観点から、高校生が進学や就職を考える段階からの関わり、進学後の継続的な支援及び在職する保育士を大切にす職場づくりとイメージ向上について、本市の取組と考えを伺う。また、学生が学ぶ最新の知見と現場との間に生じる情報のギャップを解消するため、職員が先進自治体に学ぶ研修機会を設ける考えがあるか伺う。

3 伊東市民病院は地域医療の中核を担う地域医療支援病院であり、開設者である市が経営状況を正確に把握し、管理していく必要があると考える。また、市から伊東市民病院に支出する交付金の意義や運営実態を市民に分かりやすく示すことは、市民の理解を深め、地域で病院を支える基盤になると考え、以下4点伺う。

(1) 病院事業会計から伊東市民病院に支出する交付金の目的別の内訳を伺うとともに、支出する意義を市民に分かりやすく説明する必要があると考えるが、いかがか。

(2) 指定管理者病院会計の収支実績及び収支計画について、今後も目標値及び実績値、主な乖離要因及び改善の方向性を市民に分かりやすく公表していく考えがあるか伺う。

(3) 入院患者数や外来患者数など利用者数について、指定管理者とどのように共有しているか伺う。また、医療の質の確保や経営の安定に関わる指標について、指定管理者との間でどのように協議を行っているか伺う。

(4) 伊東市民病院経営強化プランが掲げる「高度医療及び急性期医療を担う地域の中核病院」の目指す将来像を伺うとともに、その実現に向けて、市民とともに病院を支えていくために必要なことについて、考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鈴 木 絢 子

- 1 近年、全国的に高齢者、障がい者、低所得者、ひとり親世帯などの住宅確保要配慮者が増加する中、家賃滞納への不安や、孤独死後の遺品整理等に対する不安から賃貸住宅への入居を断られるケースが課題になっている。いわゆる住宅セーフティネット法の改正により、地方公共団体に対し、住宅部局や福祉部局、不動産関係団体などが連携し、包括的な居住支援を担う居住支援協議会の設置を推進しているが、本市における住宅確保要配慮者の現状及び居住支援協議会の設置に対する考えについて伺う。

- 2 令和6年9月定例会において提案した移動児童館の取組について、検討状況及び今後の方向性を伺う。

- 3 本市における不登校の現状と課題について、以下4点伺う。
 - (1) 令和7年度及び令和8年度現時点における不登校児童・生徒の状況と傾向を伺うとともに、今後、現状分析をどのように進めていくか伺う。

 - (2) 別室登校支援室の役割及び在り方について伺う。

 - (3) 各学校における別室登校支援室の利用状況及び運営内容について伺う。

 - (4) 別室登校相談員に対する研修及び別室登校支援室の運営方針の共有状況について伺う。

4 文部科学省が、学校を核とした地域力を強化するために推進している、地域とともに学校運営を行うコミュニティ・スクールと地域学校協働活動について、以下3点伺う。

(1) コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の現状と各学校の取組について伺う。

(2) コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の取組に対する評価と課題について伺う。

(3) コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動における今後の展望について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

令和8年度に執行される本市の物価高騰対策をはじめとする経済施策について、以下2点伺う。

1 ington市民プレミアム付商品券事業について、以下4点伺う。

(1) コロナ禍の経済支援をきっかけとして「ingtonエールクーポン」を発行した令和2年度以降、令和7年度を除き、ほぼ毎年度同様の事業を行ってきているが、デフレ経済下とインフレ経済下での経済対策がほぼ同様の事業形態となることには多少の疑問もあることから、デフレ経済下にあった過去の事業とインフレが進む中での令和8年度事業ではその意図するところについて違いがあるのか伺う。

(2) 同商品券の購入予約案内において、購入対象者は「伊東市民又は、伊東市内にお住まいの方」となっていることについて、「伊東市内にお住まいの方」の定義を伺うとともに、市内在住者を対象とした理由について伺う。

(3) 過去の例のとおり、結果的にほぼ毎年同様の事業を行わなければならない状況となっているが、今後も同様の施策を継続していくことになるのか、その見通しについて伺う。

(4) 商品券発行事業に代わる家計支援策としては、現在、国でも検討されている「給付付き税額控除」といった形もあり、市長公約においても、「個人市民税の時限的減税」が挙げられていたが、個人市民税減税については、令和9年度以降に取り組むのか伺う。

2 「今こそ伊東へ！キャンペーン」について、以下2点伺う。

(1) 割引クーポンの発行による旅行支援キャンペーンもコロナ禍の経済支援策をきっかけとして令和2年度以降、令和7年度を除き、例年継続されてきているが、現在、円安によって、国内全体ではインバウンドが過去最高水準に達している中で、本市が旅行代金をディスカウントする意図は何か伺う。

(2) 同事業費については、令和7年10月1日に改定された入湯税超過課税分を充当することになるのか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 河 島 紀 美 恵

- 1 防犯及び災害対策について、以下2点伺う。
 - (1) 凶悪犯が相次いでいることから、各家庭向けのブザーつき防犯カメラなどの防犯用品の購入に関する補助制度について考えを伺う。

 - (2) 災害時において、自分の命を自分で守ることは重要であるため、家庭向け・個人向けの防災リュックや、ポータブル電源などの防災資材の購入に関する補助制度について考えを伺う。

- 2 本市の水道事業及び下水道事業は人口減少や管路の老朽化等により経営が悪化していると考えことから、事業の健全経営に向け、以下2点伺う。
 - (1) 水道事業における分散型システムの導入について考えを伺う。

 - (2) 国土交通省が汚水処理手法の見直しを要請しているが、合併処理浄化槽への転換を含めた考えを伺う。

- 3 市庁舎の市民ロビー及び来庁者駐車場については、多くの市民が利用するため、快適で安全な環境を維持すべきと考え、以下4点について対応を伺う。
 - (1) 市民ロビーの空調設備整備について

 - (2) 市民ロビーの照明照度について

(3) 玄関入口の傘立ての管理について

(4) 来庁者駐車場における区画線や文字等の劣化について

4 市営住宅の管理状況及び道路の環境整備に関して、以下2点伺う。

(1) 市営住宅における危険箇所の把握状況及び修繕の予定並びに今後の維持管理計画について

(2) 道路の樹木・雑草の伐採や除去について

5 健康保養都市を掲げる本市の未来に大きく寄与すると考え、以下2点伺う。

(1) 新たな事業プラン案として、温泉療法などを活用したツーリズムの導入について

(2) スポーツ推進委員の現状や活動内容について

一 般 質 問 要 旨

議 員 虫 明 弘 雄

1 本市のDMO設立に向けた取組について、以下3点伺う。

- (1) DMO設立に向けたスケジュールについて、どのように考えているか伺う。
- (2) 令和8年3月定例会において、熱海市などの先進事例を参考にする旨の答弁があったが、どのように独自性を打ち出していくか伺う。
- (3) 観光戦略を基に稼ぐDMCを作っていくべきであると考えているが、実動部隊として、どのような組織を想定しているか伺う。

2 市内防犯灯等の管理体制について、以下2点伺う。

- (1) 市内に設置されている防犯灯等の街灯は、どのように管理されているか伺う。
- (2) 市内の防犯灯等の設置基数を維持または増加させていくための市の取組や考え方について伺う。

3 本市職員の雇用環境について、以下4点伺う。

- (1) 職員の離職状況を伺うとともに、その原因及び本市が取り組んでいる対応策について伺う。

(2) 職員の年次有給休暇取得状況について伺う。

(3) 職員の中途採用等の状況について伺う。

(4) 職員が希望する部署に従事できるような仕組みや、担当業務の専門的知識を学びスキルアップを支援するための仕組みとして、これまでにどのような取組を行ってきたか伺う。

4 本市の公有財産のうち、未利用財産の利活用について、以下3点伺う。

(1) 現在、未利用となっている施設数について伺う。

(2) 旧川奈小学校の利活用について、今後どのように進めていくか伺う。

(3) 未利用財産の利活用として、トライアル・サウンディングを計画的に進めてはいかがか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 村 上 祥 平

- 1 伊東地域交通基盤協議会が運営するAnjin GOの実証実験が、3年目を迎える中、同協議会は公共交通機関をはじめとした様々な団体で構成されており、それぞれの課題を抱えながら解決に向けて試行錯誤している。本市が抱える地域交通の課題解決には、従来のやり方では対応が難しい状況もあり、地域交通の在り方を見直す必要があると考えることから、本市の見解を伺う。

- 2 本市の上下水道の整備について、以下4点伺う。
 - (1) 配水池には、老朽化が著しいものがあるが、水道管の整備や水道施設監視システムの更新が優先的に行われる中、配水池整備については、数年前から先送りされており、早急な対応が必要となっていることから、今後の計画を伺う。

 - (2) 配水池整備には多額の予算が必要になるが、予算を確保するための考えを伺う。

 - (3) 下水道管の老朽化対策や耐震化については費用面でも課題があり、新規整備が計画通り進んでいない状況がある。第五次伊東市総合計画において下水道整備計画の見直しが行われていることから、見直しの内容や対象地域住民へ理解していただくための方策を伺う。

 - (4) 第五次伊東市総合計画において単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進するとあるが、下水道整備計画の見直しと同時に転換に向けた補助などの施策の検討も行うべきと考えることから、本市の考えを伺う。

3 起立性調節障害などにより、朝の登校が難しい児童・生徒もいるが、保護者には共働き世帯も多く、勤務先の理解を得て、登校時間を遅らせるなどの対応をしている家庭もあるものの、対応に苦慮している家庭もあることから、一人一人に寄り添う支援の一環として登校時の支援や午後から夕方にかけての支援に関する仕組みの導入を提案するが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 竹 本 力 哉

1 伊東市民病院について、以下3点伺う。

(1) 伊東市民病院において、どのような課題を認識しているのか伺う。

(2) 課題解決に向けて、どのような対策を講じているのか伺う。

(3) 本市が目指すべき伊東市民病院を核とした地域医療との連携については、市民の理解が最も重要であり、また不可欠であると考えますが、どのように理解促進を図っていくか伺う。

2 観光会館について、以下4点伺う。

(1) 現在の観光会館について、どのような課題を認識しているのか伺う。

(2) 今後10年使用していくために必要と考える改修内容、またその費用をどのように見込んでいるか伺う。

(3) 観光会館の位置づけとして、将来的には「文化施設」と考えているのか、「観光施設」と考えているのか伺う。

(4) 第4次伊東市観光基本計画において、本市観光の方向性として「観光施設・資源の高付加価値化・長寿命化」との施策指針を掲げているが、観光会館はその戦略の中に含まれているのか伺う。

- 3 人口減少対策としての教育環境づくり及び教育移住について、以下5点伺う。
- (1) 本市は人口減少と少子化が進行しているが、単なる子育て支援施策だけでは、他の自治体と差別化が難しいため、特色のある教育が受けられるまちとして、存在感を示すことは有効と考えるが、見解を伺う。
 - (2) 全国では特色ある教育を地域ブランドとして活用し、移住促進につなげる自治体も増えているが、本市においても教育を人口減少対策の柱の一つとして位置づける考えはないか伺う。
 - (3) 人口減少対策として教育移住が有効に機能している事例もあるが、その中でも多様な子供たちが共に学ぶインクルーシブ教育は注目を集めている。本市において、このような先進事例の研究を行う考えはないか伺う。
 - (4) 知識伝達中心の教育から、自ら学び課題を解決する力を育む教育への転換が注目を集めており、教育移住につながっている事例もあることから、個別最適な学びや自律型学習について、どのように考えているのか伺う。
 - (5) 本市独自の教育の特色を形成するため、まずはモデル校を定め、先進的な教育実践を試行する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

- 1 令和7年10月19日執行の伊東市議会議員選挙に対して、市民から選挙無効の訴えがされており、今なお選挙の効力が確定されていないという前代未聞の状況となっていることについて、これまでの経緯を伺うとともに、この事態の収束に向けてどのように考えているか伺う。

- 2 令和8年3月定例会の予算大綱質疑において、私たち党派伊東未来より、ふるさと伊東応援寄附金の増収を図る視点から業務形態についても質疑を行ったところであるが、ふるさと伊東応援寄附金返礼事業の今後の方針を伺うとともに、プロポーザルにより中間事業者を選定すべきと考え、見解を伺う。

- 3 令和8年3月定例会の一般質問において、本市を拠点に活躍された世界的な彫刻家・重岡建治氏の功績をたたえ、同氏の作品が多数設置されている「なぎさ公園」の名称を「重岡建治彫刻記念公園（仮称）」等に改称、または副題を加える提案をしたところであるが、その後の方針及び考えについて伺う。

4 令和7年度に策定した伊東港・伊東港海岸整備基本構想について、以下2点伺う。

(1) 構想の方向性及び事業内容を伺う。

(2) 伊東オレンジビーチ及び白石地区の整備イメージ図によると、海岸部の埋立てを行った上で広域的な活用やにぎわいづくりに向けた整備を進めていくように見受けられるが、市街地の防災対策としてはどのように考えているか伺う。

5 令和8年4月1日、およそ10か月ぶりに教育長が就任したが、本市の教育における特徴をどのように捉え、新たな教育長の下、今後の教育行政を展開していくか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 犬 飼 このり

- 1 市民への情報伝達のうち、市公式LINE及びメールマガジンについて、以下3点伺う。
 - (1) 活用範囲や運用フローには基準が設定されているか伺う。
 - (2) 犬・猫の迷子情報を流してほしいという市民の要望を聞くことから、対応の可否を伺うとともに、このような市民ニーズをどのように把握して、対応に結びつけるか伺う。
 - (3) 市公式LINEは様々な情報を受け取るだけでなく、利用者側からも各種手続や様々な情報が得られるメリットがあるが、使い方は十分に周知されているか伺う。
- 2 管理が行き届いていない空き家や土地の所有者で、市外や国外に居住している方に対する注意喚起について、どのような対策を講じているか伺う。
- 3 現在、閉校や休園となっている小学校及び幼稚園における光熱水費等の維持管理費を伺うとともに、今後の維持管理費の見込みを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 大 川 勝 弘

1 本市の観光施策について、以下4点伺う。

(1) インバウンド集客及びそのPR戦略の現状について伺う。

(2) 令和6年9月定例会において質問をした、本市においてイベント等を開催する際のデジタル化の進捗状況やビッグデータの活用について、改めて進捗を伺う。

(3) 令和6年9月定例会において質問をした、本市と周辺市町村、民間企業とが連携して実施するWi-Fiの整備について、改めて進捗を伺う。

(4) 第80回桜針祭の在り方や今後の展望について伺う。

2 本市の子育て支援施策及び教育環境の向上を図る取組について、以下7点伺う。

(1) 中学生や高校生に対する通学費用への補助金やスクールバス導入について、本市の考えを伺う。

(2) 入学祝金の制度拡大について、本市の考えを伺う。

(3) 奨学金制度の見直しについて、本市の考えを伺う。

- (4) 学校統廃合が進む中、教育環境や学校整備に関する中長期計画や今後の展望について、本市の考えを伺う。
- (5) 小・中学校の体育館及び市民体育センターへのエアコン設置について、本市の考えを伺う。
- (6) 閉校となった学校等の教育財産の用途変更について、本市の考えを伺う。
- (7) 文化活動やスポーツ活動において、顕著な成績を収めた方に対する支援について、本市の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 井 戸 清 司

- 1 ごみ収集事業における外国人対応及び古着等の回収について、以下2点伺う。
 - (1) ごみの分別収集に関し、外国人への対応状況を伺う。
 - (2) 古着等の拠点回収について、現在回収を行っている幼稚園、保育園とともに小・中学校においても回収を行うことを提案するが、いかがか。

- 2 防災対策及び災害時の対応について、以下3点伺う。
 - (1) 台風6号接近の際、気象警報の発表に先んじて避難所開設に至った理由とともに、外国人への情報発信をどのように行ったか伺う。
 - (2) 新たな防災気象情報の運用が開始され、5段階の警戒レベルに対応した情報に変更となったことにより、本市の対応はどのように変わったのか伺う。
 - (3) 情報伝達のデジタル化を図ることで、現場からの克明な状況を把握し、より迅速に優先順位をつけて対応することが必要と考えるが、いかがか。

- 3 競輪事業について、以下2点伺う。
 - (1) 今年度、競輪場再整備が進められているが、具体的な改修工事と開催のスケジュールについて伺う。
 - (2) 依然として好調な売上げを今後も維持していくため、どのような事業を進めていくのか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

1 英語教育の充実について、以下3点伺う。

- (1) 令和5年度の全国学力・学習状況調査において、英語の「話すこと」に課題が示されているが、本市の児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力や発話機会の現状をどのように認識し、どのような取組を行っているか伺う。
- (2) 家庭環境や居住地による英語学習機会の格差が指摘される中、学校教育が担うべき教育機会均等の観点から、全ての児童・生徒が英語によるコミュニケーションを学ぶ機会を確保することについて、どのように考えているか伺う。
- (3) GIGAスクール用タブレット端末を活用したオンライン英会話の取組が全国で広がりつつあるが、本市でもモデル校を設置し、実証的に実施する考えはないか伺う。

2 子供たちにより良い教育環境を提供する観点から、学校における取組について、以下2点伺う。

- (1) 教員は、授業だけでなく、生徒指導、保護者対応、部活動指導など多岐にわたる業務を担っていることから、学校全体で子供を支える体制づくりと、教員が孤立することのないチームによる学級経営の推進が望まれるが、本市の考えについて伺う。
- (2) 保護者対応に関して、支援体制の構築を推進・充実させることが必要だと考えることから、スクールロイヤーの設置や、学校・保護者等間の問題解決支援体制として学校問題解決支援コーディネーターの設置について見解を伺う。

- 3 約10か月の間不在であった教育長を迎えた本市の教育行政に関して、以下3点伺う。
- (1) 本市の重要課題の一つに不登校児童・生徒への対応があると考えます。近年の不登校の現状についてどのように認識しているか伺うとともに、不登校児童・生徒への支援について今後どのように取り組む考えか伺う。
- (2) 図書館について、施設の今後の整備方針について伺う。
- (3) 森重教育長のプロフィールが掲載された広報いとう6月号には、「子どもを中心として、学校・保護者・地域・教育委員会が協働する、いわゆる“4WD”で伊東市の教育を推進」とあるが、学校再編や幼保再編の議論においても、保護者や地域との対話が極めて重要になると考える。教育長が掲げる4WDの理念を、学校適正配置や幼保こども園の将来像にどのように生かしていく考えか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 長 沢 正

- 1 高齢者が安心して暮らせる地域づくりについて、以下2点伺う。
 - (1) 独り暮らし高齢者等への支援について、見守りや安否確認体制はどのようになっているか伺う。
 - (2) 救急医療情報キットの導入を検討する考えはあるか伺う。

- 2 認知症高齢者とその家族を支える施策について、以下4点伺う。
 - (1) 認知症高齢者数の現状と今後の推移について伺う。
 - (2) 認知症高齢者とその家族への支援について、取組状況を伺う。
 - (3) 行方不明対策について伺う。
 - (4) 認知症高齢者個人賠償責任保険の導入について、考えを伺う。

- 3 学校における熱中症対策の強化について、以下3点伺う。
 - (1) 熱中症発生状況について、保健室で対応した件数や医療機関へ搬送された事例はあるか伺う。
 - (2) 熱中症対策の現状について、以下2点伺う。
 - ア 暑さ指数の活用状況や運動制限の判断基準、水分補給の指導など取組状況を伺う。
 - イ 児童・生徒や保護者への周知をどのように行っているか伺う。
 - (3) 学校施設整備の観点から、冷凍庫や製氷機を導入する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

1 補聴器購入に対する助成制度の導入については、令和2年度より、度々予算要望や一般質問を行ってきた。既に県内23市のうち18市で助成が実施されているものと認識しているが、本市においてはその費用対効果に疑問があるため、補聴器の必要性や正しい理解などの啓発が重要であるとしてきたところである。しかし、まず助成制度の創設により、高齢者の関心を高め、同時に学習や啓発を行っていくことが、難聴問題を解決するためには効果的な方法と考えるため、先行して実施している自治体の取組等の調査を含め、これまでの実施に向けた取組を伺うとともに、早期実施に向けた考えを伺う。

2 令和7年10月19日の市議会議員選挙の開票について、以下2点伺う。

(1) 市民から、ライブ放映された壇上の候補者別の票数と開票結果に乖離があるとの疑義が出されたが、その後の12月の市長選挙における開票の際は改善したと聞いている。開票の公正さは民主主義の原点であり、もし課題を発見した際には改善する必要があると考えるため、その理由と、どのような点をどのように改善したか、具体的に伺う。

(2) 今後、このような疑義が生じないために、開票及び選挙管理委員会委員や立会人の役割にも改善が必要であると考え。他市の事例では、立会人が開票の公正さを監視できるよう、確定票への押印も疑問票が有効票になったものに限って、壇上の各候補者の票数についても確認できるようにしている自治体もあると聞いている。このような他市の事例も調べ、候補者や開票に従事した職員等の意見も聞き、さらなる公正な開票のための改善をしていくことが必要と考えるが、いかがか。

3 今年度実施される基本構想策定事業について、今ある観光資源に磨きをかける観点から非常に重要であると考えことから、次の事業の概要及び基本構想を策定する目的を伺うとともに、策定を進めるに当たり関わる人や団体を伺う。

(1) 一碧湖再整備基本構想策定事業

(2) 小室山公園再整備基本構想策定事業

一 般 質 問 要 旨

議 員 片 桐 基 至

- 1 (仮称)伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業について、現在の状況及び今後の見通しを伺う。

- 2 健康保養地づくり事業の方向性について、以下3点伺う。
 - (1) 健康保養地づくり事業の目的に対し、計画や施策の実績をどのように総括しているか伺う。

 - (2) 平成28年3月に第4次伊東市健康保養地づくり事業計画が策定されて以降、新たな計画が策定されていないが、今後の方向性について伺う。

 - (3) 健康保養地づくり事業計画では、医療と観光の連携が掲げられ、第五次伊東市総合計画においても、健康保養地づくり事業の推進が明記されている。これらを踏まえ、ヘルスツーリズムでの新たな客層の獲得に向け、どのように考えているか伺う。

3 環境省の「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトは、森・里・川・海が本来つながり、私たちの暮らしを支えていると示している。本市は豊かな自然環境を持つ一方、鳥獣被害や里山の荒廃、耕作放棄地、倒木等による停電などの課題を抱えていると考えることから、自然を単なる保全対象とするのではなく、地域資源として生かしつつ、市民の安全・安心につなげる視点が重要と考え、以下4点伺う。

(1) 本市の自然環境を、観光、農林水産業、景観、防災、教育及び健康づくりにもつながる地域資源として守り生かしながら、市民生活の安全・安心につなげていくという視点について、見解を伺う。

(2) 鳥獣被害は、山間部だけの問題ではなく、里山の荒廃、耕作放棄地、河川環境、農地、観光地及び市街地との境界管理など、自然と人の暮らしが接する場所における課題であると考えますが、森・里・川・海を一体として捉えた自然環境管理を進める中で、鳥獣被害対策にどのように取り組んでいくか伺う。

(3) 全国及び静岡県内における近年の熊出没状況並びに伊豆地域における確認事例を踏まえ、どのような危機意識を持っているか伺うとともに、熊の出没が確認された場合、市民への情報提供、関係機関との連携及び初動対応について、どのように備えているか伺う。

(4) 最近、市内で発生している停電の原因は、その多くが樹木の倒木や枝葉が電線に接触したものと推測されるが、行政として行うことができる予防的な取組について考えを伺う。